

# 運動負荷心電図検査

運動によって起こる症状（胸痛、動悸、息切れなど）が、心臓が原因で起こっているのかを調べる検査です。

小さな踏み台を上り降りする方法（マスター2階段試験）と、電動式のベルトの上で歩行からジョギングを行う方法（トレッドミル検査）があります。

## 《マスター2階段試験》

安静時の心電図を記録した後に、階段を1分半または3分間上り降りしてもらい、運動直後から心電図を3分間記録し心電図の変化を判定します。

### 【検査時間】

10分～20分程度です。

### 【検査の準備・注意事項】

- ・転倒防止のため、検査時は靴下を脱いでもらいます。
- ・検査中に胸痛、動悸、息切れなどの症状が出ましたら、我慢せずに申し出てください。
- ・階段の上り降りをしますので、足腰の弱い方は事前に検査者に申し出てください。

## 《トレッドミル検査》

循環器医師立ち会いの下で、電動式のベルトの上で歩行やジョギングを行い、そのときにどのような症状が起きるか、心電図や血圧に変化が起きるかどうかみる検査です。

検査は心電図の電極を胸につけ、血圧測定用のカフを腕に巻いて運動します。

運動中は心電図を常時記録し、血圧は1分毎に測定します。

### 【検査時間】

30分程度です。

運動時間は心臓に負担がかかるまで行いますので、患者さんごとに異なります

### 【検査の準備・注意事項】

- ・汗をかく程度運動をします。運動しやすい服装でお越しください。
- ・汗を拭くタオル等をご用意ください。
- ・ひざや腰が痛いなど運動が困難な場合は事前にお申し出ください。
- ・循環器の医師が検査を行い、運動中の心電図・血圧をモニターしながら行っていますのでご安心ください。
- ・検査中「胸が痛い」等の自覚症状が出た場合には、すぐに検査担当者に伝えてください。



《マスター2階段試験》



《トレッドミル検査》